

# 2026年3月期 個人投資家向け会社説明会

2025年12月11日



証券コード 8093

■会社概要と事業紹介

■中期経営計画「KBK プラスワン 2025」の取組み

■2026年3月期業績見通し

■株主還元・資本政策

■まとめ

# 会社概要と事業紹介



## 3つの事業領域



設立  
**1947年**

グループ会社・関連会社  
**国内15社  
海外22社**

※2025年4月現在

グローバルネットワーク  
**国内46拠点  
海外27拠点**

※2025年4月現在

グループ従業員  
**648名**

売上高  
**529億円**

経常利益  
**25.2億円**

ROE  
**5.4%**

海外売上高比率  
**40.6%**

1947年	設立
1948年	札幌支店開設
1949年～	大阪支店開設、 そのほか国内拠点拡大開始
1956年～	アメリカほか海外拠点 拡大開始
1987年	東証二部上場
2000年	東証一部上場
2009年～	子会社の設立・M&A等 グループ拡大化
2022年	プライム市場へ移行

- ・製鉄機械
- ・建設機械
- ・航空機器
- ・防衛関連機器
- ・海洋開発機器
- ・電子機器
- ・通信機器
- ・エンジニアリング  
プラスチック
- ・コーティング剤
- ・複合材料
- ・検査機器
- ・防災機器
- ・省力化技術
- ・環境対策

- ・1947年：旧三井物産がGHQの解散命令を受けて解体  
同社機械部の幹部が「極東貿易(株)」を設立
- ・設立発起人：土光敏夫など財界で活躍したメンバーが参画



常に国内外のニーズに対応し、  
先進技術を提供

極東貿易株式会社 設立当時  
(丸の内ビルディング内に本社設立)

社 是

「人と技術と信頼と」

経 営 理 念

「ニーズとシーズの橋になる」

## Mission

(果たすべき使命)

技術商社として社会と企業の  
ベストパートナーを目指す

## Vision

(目指すべき姿)

「社会に+1(プラスワン)を提供する企業集団へ」

## Value

(KBKの行動指針)

経営感覚

起業家精神

コンプライアンス

3つの精神を持ちながら  
未開拓な分野に積極的にチャレンジ

## 技術力に基づく「プラスワン」

技術提案、導入・据付、運用・保守まで一貫した  
技術サポートができるエンジニアリング商社

## 多様でユニークな取扱商材

製鉄所向け設備、海洋探査・掘削機器から地震計、  
エンジニアリングプラスチック・コーティング剤、複合材料、産業用特殊ファスナー等まで

## グローバル体制によるものづくり支援

米州、中国、アセアン、インド、欧州など  
グローバルなネットワークで日系企業などのものづくりを支援

## ■事業概要

産業インフラ事業…国内外鉄鋼・化学プラント向け各種機器・設備、  
海外プラント向け機器、地震計

資源・計測機事業…資源開発機器、洋上風力発電関連、  
航空宇宙・防衛関連、自動車開発用試験装置、  
移動体用給電装置

## ■主な事業



国内外鉄鋼・化学プラント  
向け機器・設備



海外プラント向け機器



地震計



移動体用給電装置



資源開発機器



洋上風力発電関連



航空宇宙・防衛関連



自動車開発用試験装置

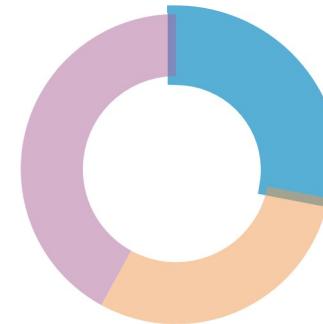
「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制

売上高構成比

25%  
25%



# 産業設備関連部門：最先端の機械技術を供給

## ■高品質な鉄鋼を支える当社商材の貢献

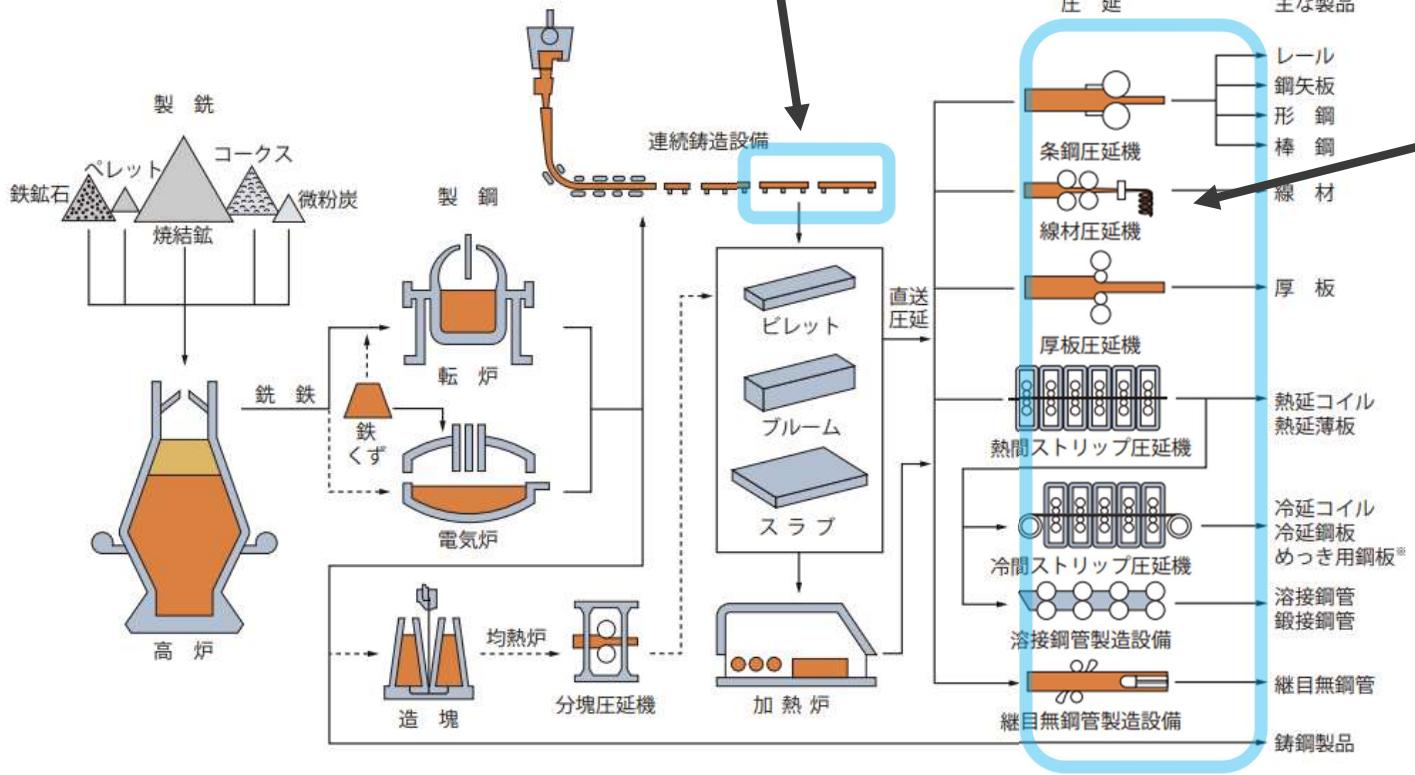


### 【製鋼：精製装置】

高機能材の生産に不可欠な溶削プロセス

例 スカーフィングマシン

### 鉄鋼の製造工程



「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制

### 【圧延：制御装置、検査装置】

高い精度で、最終製品の安定した高品質に貢献

例 圧延制御装置

薄板の厚み/幅測定装置

薄板ライン制御装置

製品マーキング装置

### 厚み検査装置



制御装置

# 産業素材関連部門

## ■事業概要

機能素材事業 … 国内外向け自動車部品用を中心としたコーティング剤、  
炭素繊維・複合材料、エンジニアリングプラスチック

生活・環境事業…食品業界向け資材・設備、バイオプロダクト、  
耐熱・防錆材料など

## ■主な事業



自動車部品用コーティング剤



炭素繊維・複合材料



売上高構成比

44 %



エンジニアリングプラスチック



食品業界向け資材・設備



バイオプロダクト



耐熱・防錆材料など

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制

# 産業素材関連部門:自動車産業における取扱商品

内装

ランプ

加飾部品

加飾フィルム・成形機



グリース・速乾性潤滑剤



塗料・インク・樹脂・部品・ヒートシンクなど



「プラスワン」

多様な商材

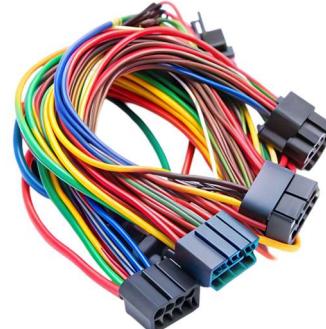
グローバル体制

マフラー

耐熱塗料



ワイヤーハーネス



部品加工

防錆材料



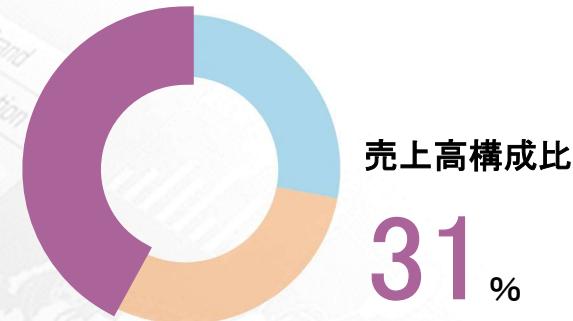
## ■事業概要

精密ファスナー(特殊ねじ類)事業…エトー(株)の産業用精密ファスナー、金属部品など  
特殊スプリング事業…サンコーススプリング(株)の定荷重ばね、ぜんまいなど  
船舶補修部品事業…(株)ウエルストンの船舶用エンジンなどの補修部品

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制



## ■主な事業



精密ファスナー(特殊ねじ類)事業



特殊スプリング事業



船舶補修部品事業

# 機械部品関連部門:建設機械向けの取扱商品



「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制

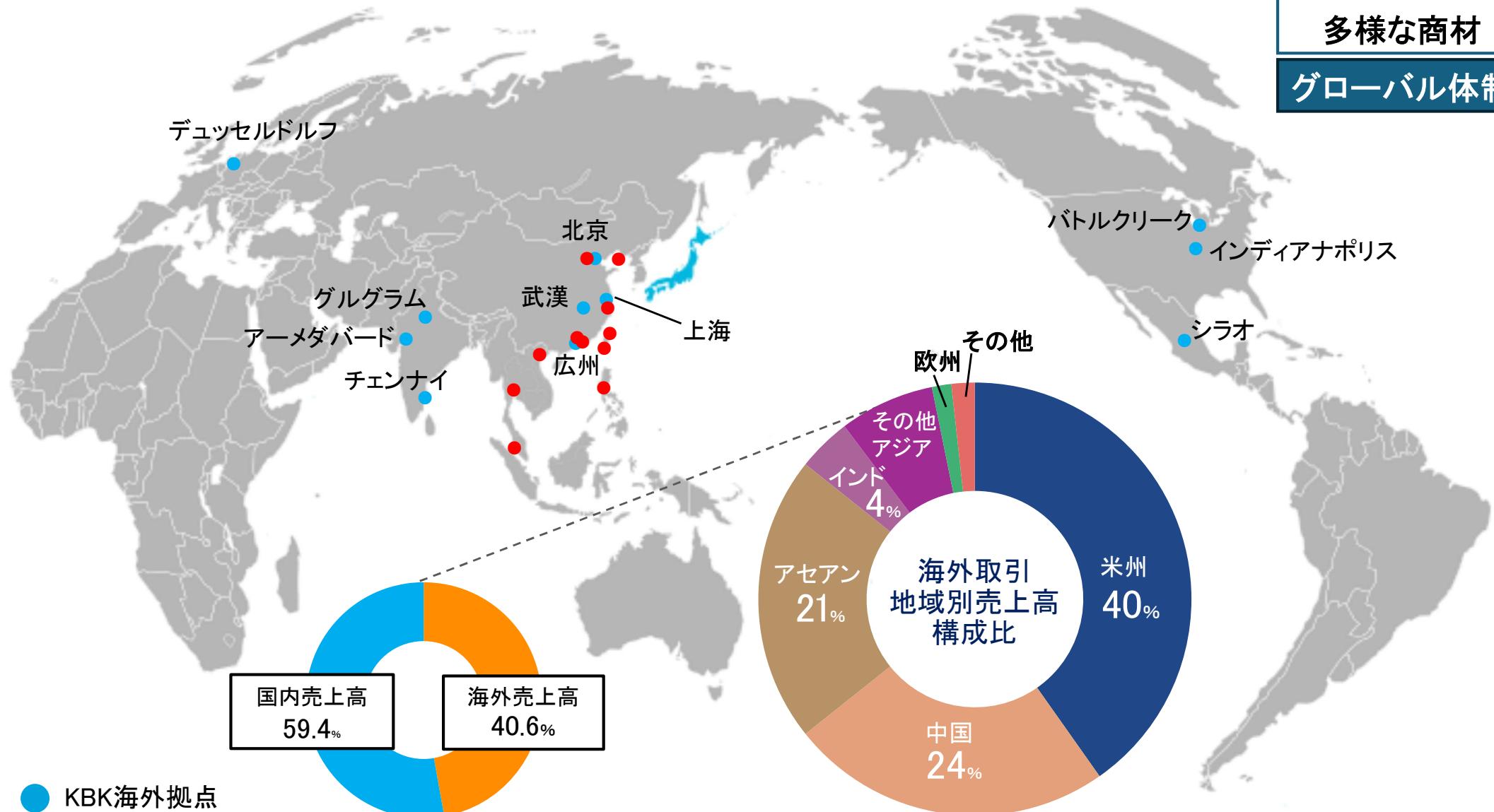
- 高耐久が求められる重要箇所で採用
- 大手メーカーへのボルト供給本数: 約100万本/月間

# グローバル体制

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制



# グローバル体制: 米州

歴史ある拠点、アメリカで魅力ある商材を開拓

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制



## ■ 現在の事業概要

- ・ アメリカ、メキシコに現地法人
- ・ 日系自動車部品メーカー向けに供給  
樹脂・塗料・部品(特殊ねじ、ワイヤーハーネス、  
ヘッドランプ部品など)



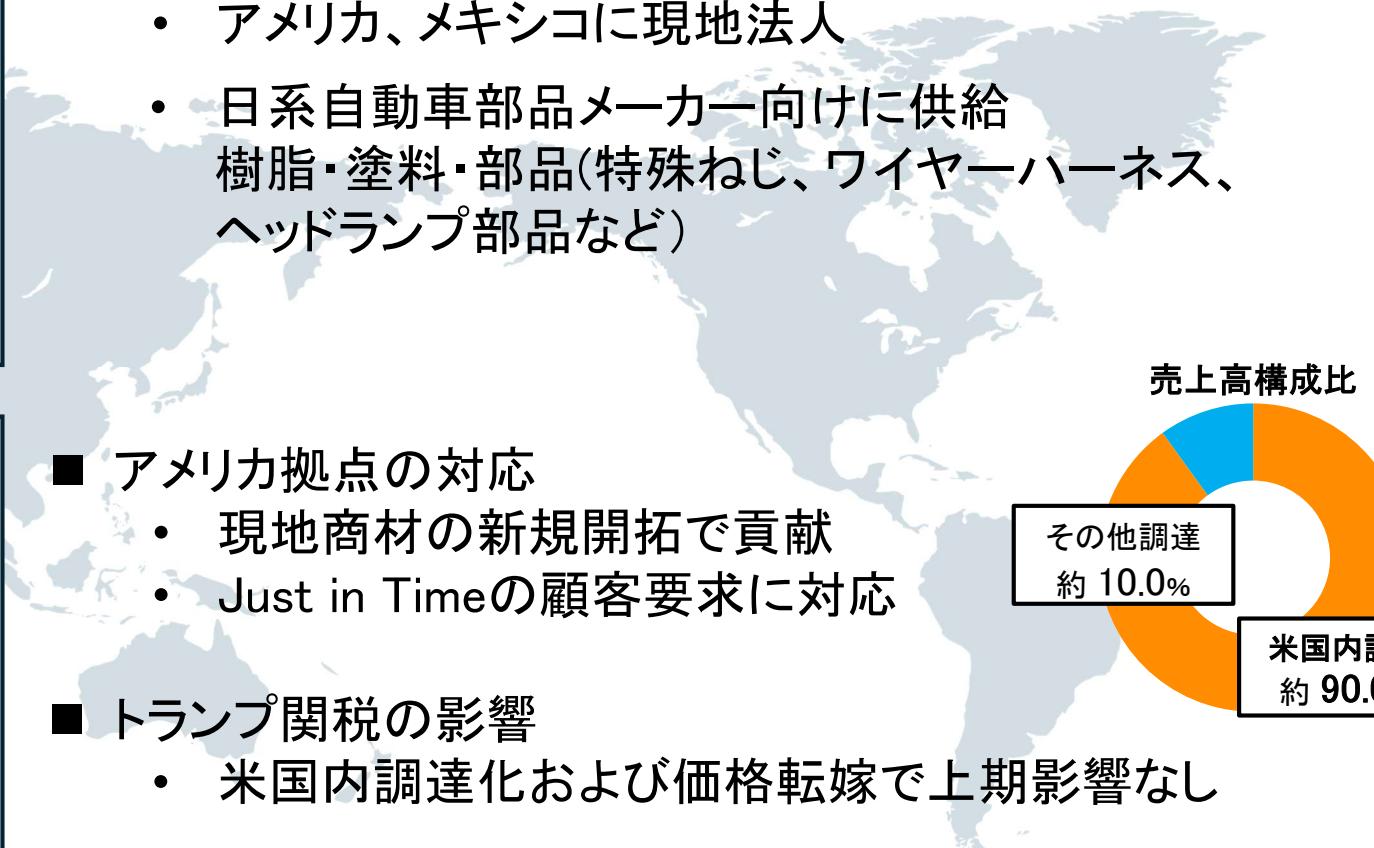
## ■ アメリカ拠点の対応

- ・ 現地商材の新規開拓で貢献
- ・ Just in Timeの顧客要求に対応

## ■ トランプ関税の影響

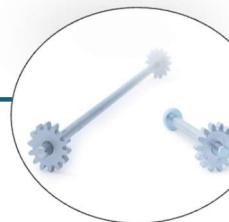
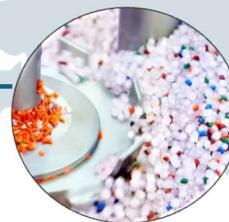
- ・ 米国内調達化および価格転嫁で上期影響なし

トランプ関税による影響は限定的  
新規商材の開拓で、成長機会を創出



# グローバル体制: アセアン

高品質と技術力による安定した事業基盤と成長戦略



## ■ 現在の事業概要

- ・ タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピンに拠点
- ・ 合成樹脂、精密ファスナー・自動車部品が主力商材

## ■ 合成樹脂

- ・ 日系メーカーの海外進出を支援  
香港を中心とした在庫管理体制  
タイ、ベトナム、フィリピンへ安定供給
- ・ 安定した事業基盤を保有

## ■ 精密ファスナー(特殊ねじ類)

- ・ タイに製造拠点を構え、即納体制を構築
- ・ ベトナムでの市場開拓を目的とした計画を遂行中

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制

既存事業を基盤にさらなる事業拡大を推進すべく、エリア戦略を強化

## 成長市場における積極的な事業展開・投資



### ■ 現在の事業概要

- ・ インドの現地法人は3拠点
- 2024年: アーメダバードへ拠点増設
- ・ 自動車産業向けが主力事業

### ■ フィーダー(原材料定量供給装置)

- ・ 自社での一貫体制(販売・保守・メンテナンス)を確立
- 競合他社よりも迅速な顧客要望への対応が強み

### ■ 精密ファスナー(特殊ねじ類)

- ・ 現地調達品を拡充させ、有力商材の地産地消を推進

### ■ 速乾性潤滑剤

- ・ 油分を含まず、べたつきが無い点が高評価
- 人が触れる箇所、油分を嫌う箇所に多数の採用実績

「プラスワン」

多様な商材

グローバル体制



現地雇用と技能向上を核とした人材戦略を重要視し、  
事業拡大を牽引する強力な組織基盤の構築を図る

# 中期経営計画「KBK プラスワン 2025」の取り組み

## 3つの重点施策



最重要取引先での実証成功を受け、構内特殊車両の自動化案件を推進中



## ■ 自動運転システム

- ・ 大規模製造現場の構内などでの運用を目的とし、特殊車両やダンプトラックなどの自動化ソリューションを提供
- ・ 英国AB Dynamics社のシステムを日本国内で独占販売
- ・ 既存車両への後付け導入が可能な点が強み、新規車両導入と比較し、コスト優位性を提供



## ■ 製鉄関連の取引先と搬送自動化を実証

- ・ 製鉄所構内用の運搬用特殊車両の自動走行デモを実施

## ■ 国内製鉄の特殊車両で 数百～1,000台の市場規模を見込む

デモの実績を積極的にアピールすることで、  
国内製鉄所への展開を加速



※撮影、無断転用はご遠慮ください。

洋上風力発電の導入プロセス全体にわたり当グループ全体として貢献

## 調査

- ・立地環境調査
- ・海域・気象・海象調査
- 風況・海象観測、海底地盤・土質、  
関係法令、社会条件の調査を行う。



風況観測/  
洋上風況観測用ブイ

## 設計・建設工事

- ・基本設計、実施設計
- ・建設工事
- 風車設置点と規模の決定、機種と  
支持構造物の選定、経済性の  
検討を行う。
- 基礎設置、風車据付、電気工事、  
海底ケーブル敷設、試運転・  
検査を行う。



特殊大型治具・架台類の  
設計・制作・販売・メンテナンス

## 運転保守

- 運転監視、定期・不定期保守、  
補修契約、保守点検を行う。



海中監視/  
作業用水中ロボット

## 洋上風力発電事業の調査に貢献する主力製品



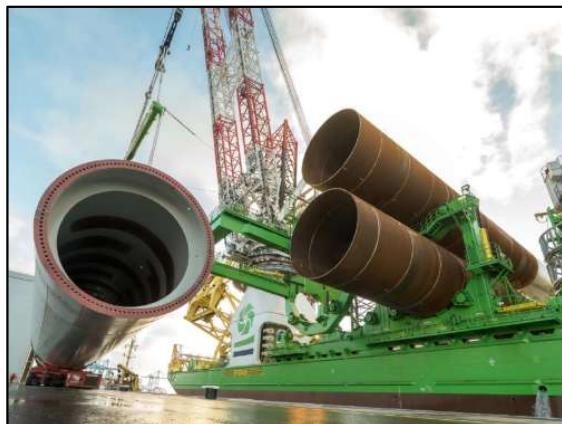
- Floating Lidar Buoy (FLB)
  - 洋上風力発電における風車建設前の事業性評価（風況・海象観測）に用いられる調査機器
- 魚群探知機を搭載した世界初のFLBであり、風況・海象観測と同時に周辺の魚群データも測定可能
  - 魚群観測と風況調査を一度に実施でき、海域環境変化を効率的に評価
  - 漁群データ提供を通じて、事業の合意形成を支援
- 石川県輪島沖でプロジェクトが進行中
  - 2025年9月12日より同海域にて調査を開始
  - 観測データを収集中

洋上開発の沖合化に伴い、ブイによる調査需要の増加を期待



※撮影、無断転用はご遠慮ください。

## TWD Japan:特殊大型治具・架台類による差別化



### ■ 建設工事(据付)に不可欠な特殊大型治具・架台類の設計・エンジニアリング及び製作・メンテナンスを提供

- ・ 案件ごとに顧客要求に合わせる「一品一様」の完全オーダーメイド設計が最大の強み
- ・ オランダ TWD B.V社と独占的な協業契約を締結

### ■ 発電事業者の採算性悪化が取り沙汰されるも、引き続き高い成長余地を保持

- ・ 第2・第3ラウンドは運転開始に向けて計画通りに進捗
- ・ 当社も建設業者向け治具設計を順調に受注
- ・ 現時点において、大手商社撤退の影響は限定的

特殊大型治具・架台類の設計に注力するとともに、構造物(特殊大型治具・架台類)の製作の受注獲得を目指す

## 環境に配慮した生分解促進添加剤



- 生分解促進添加剤「 eco-one® 」
  - ・ プラスチック製品の海洋・土壌生分解を促進
  - ・ 製品寿命を縮めることなく、通常使用が可能
  - ・ ASTM(米国試験材料協会)の規格に基づき生分解性を確認
- 既にビーチサンダルに採用され販売開始
- その他、以下の関連分野でeco-one®の採用を検討中
  - ・ シューズ関連(ソールなど)
  - ・ 繊維関連(屋外用ネット、マットなど)
  - ・ 包装容器関連(食品用パック、梱包材など)

※ eco-oneの詳細:

<https://www.kbk.co.jp/ja/business/products/eco-one>

多岐にわたる用途・業界への展開を促進し、  
持続可能な社会の実現に貢献

日本のインフラを支える重要技術。実績と社会的信頼が生み出す強固な事業基盤。



## ■ 地震計

- ・ 当グループにおいて2022年から地震計の製造・保守事業を開始
- ・ 設置場所と主な用途:
  - ・ 原子力発電所 (緊急停止措置)
  - ・ 鉄道・新幹線沿線 (安全制御)
  - ・ 地下深部 (緊急地震速報)
  - ・ 火山 (火山活動の監視)
- ・ 東日本大震災等での納入実績が証明する高い信頼性を背景に、重要インフラ市場において高いシェアで採用

## ■ 安定的な需要があり、今年度も堅調な見通し

- ・ 新幹線関連、地下深部(全国約1,000台)向けの継続的な機器更新受注が堅調に推移
- ・ 中学校1年生の理科の教科書に掲載

高い参入障壁に基づく強固な事業基盤を維持しつつ、  
防災・減災分野へ積極的に貢献

# 2026年3月期業績見通し

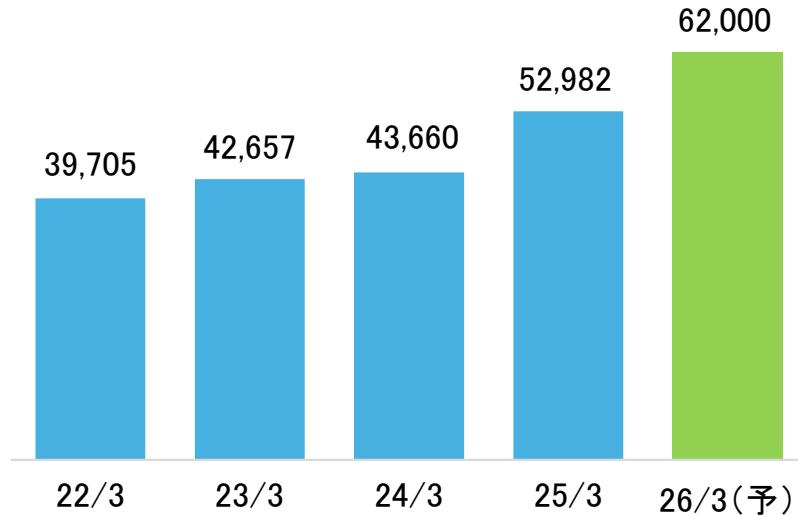
## 連結業績見通し（対 期初通期見通し）

（単位：百万円）

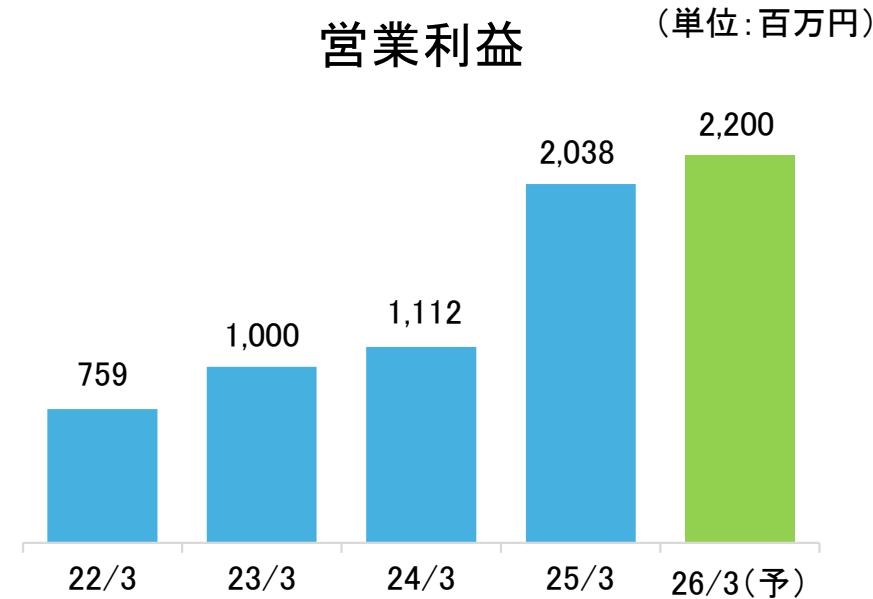
	2025年3月期 実績	2026年3月期		通期見通し（期初） からの増減	
		通期見通し (期初)	通期見通し (修正)		
売上高	52,982	57,000	62,000	5,000	8.8%
営業利益	2,038	1,800	2,200	400	22.2%
経常利益	2,525	2,100	2,350	250	11.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,717 (1,580)	1,600	1,700	100	6.3%

カッコ内は、負ののれん発生益2,137百万円を除いた当期純利益

## 売上高

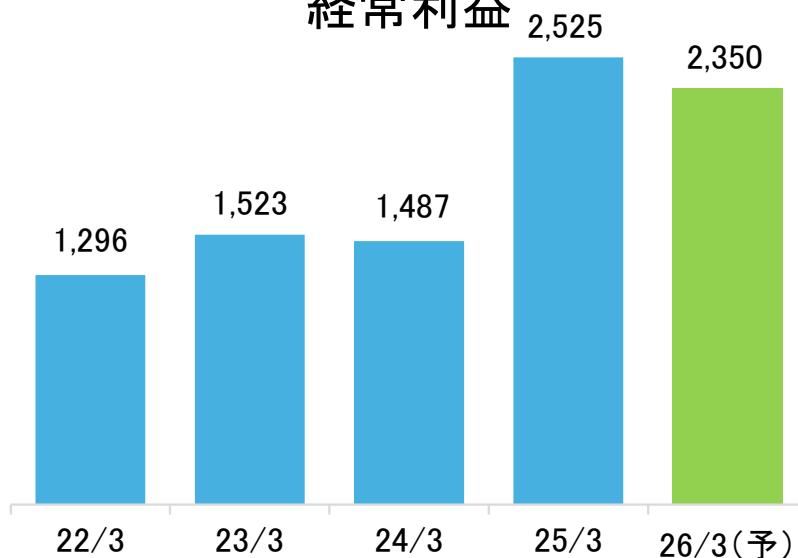


## 営業利益

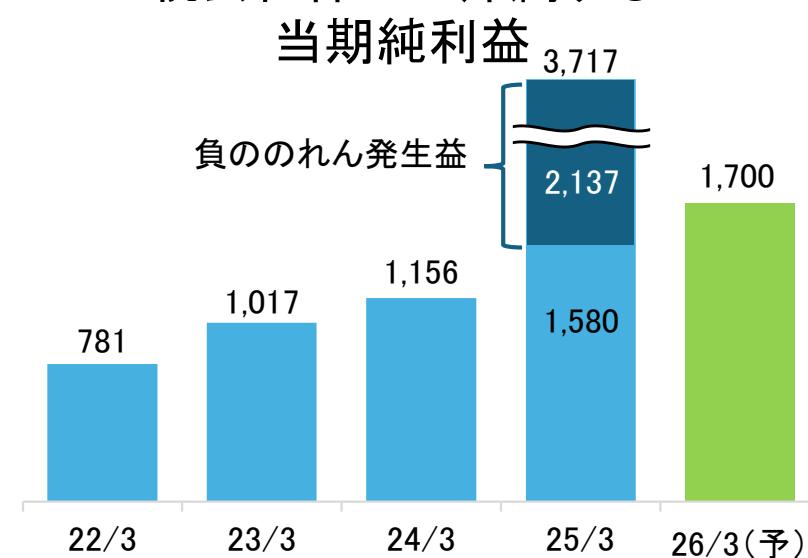


(単位:百万円)

## 経常利益

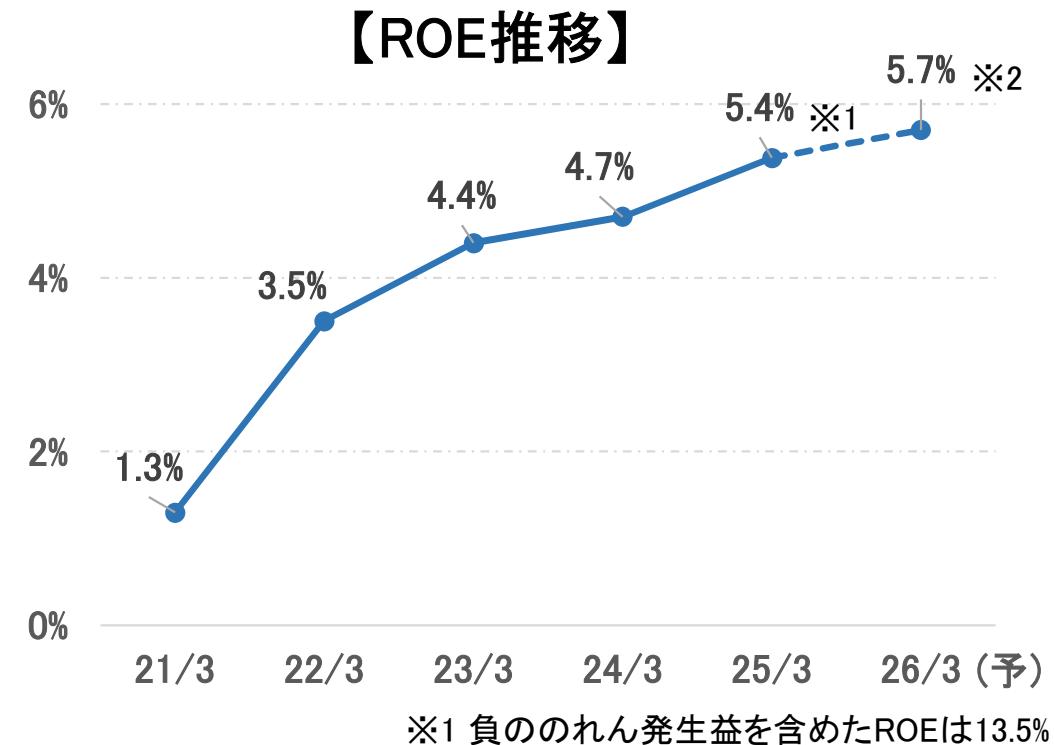
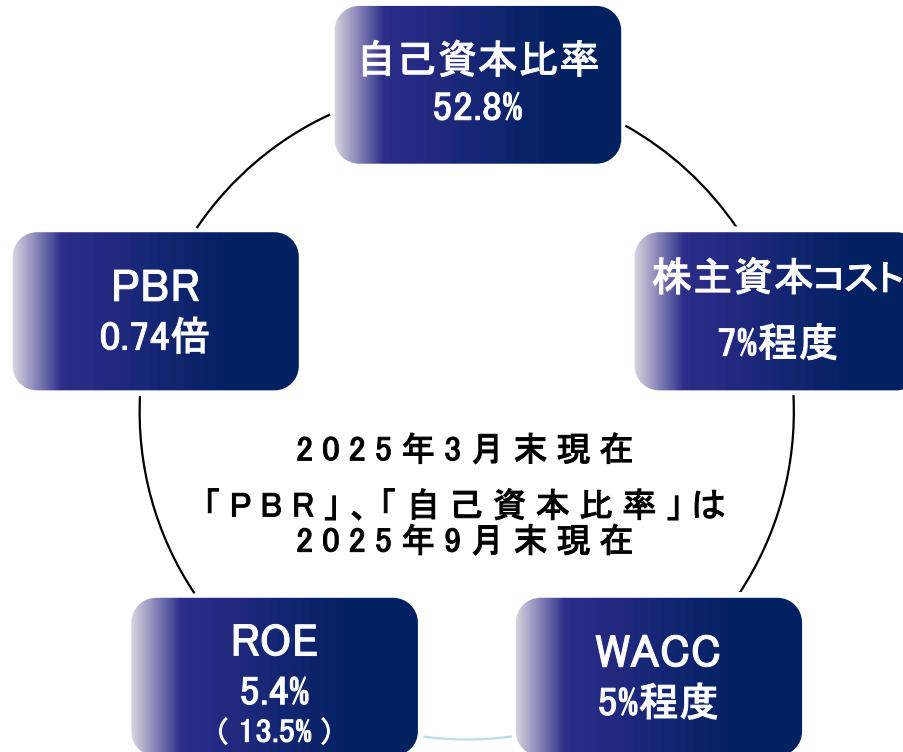


## 親会社株主に帰属する 当期純利益



2,137  
1,580

# 当社指標

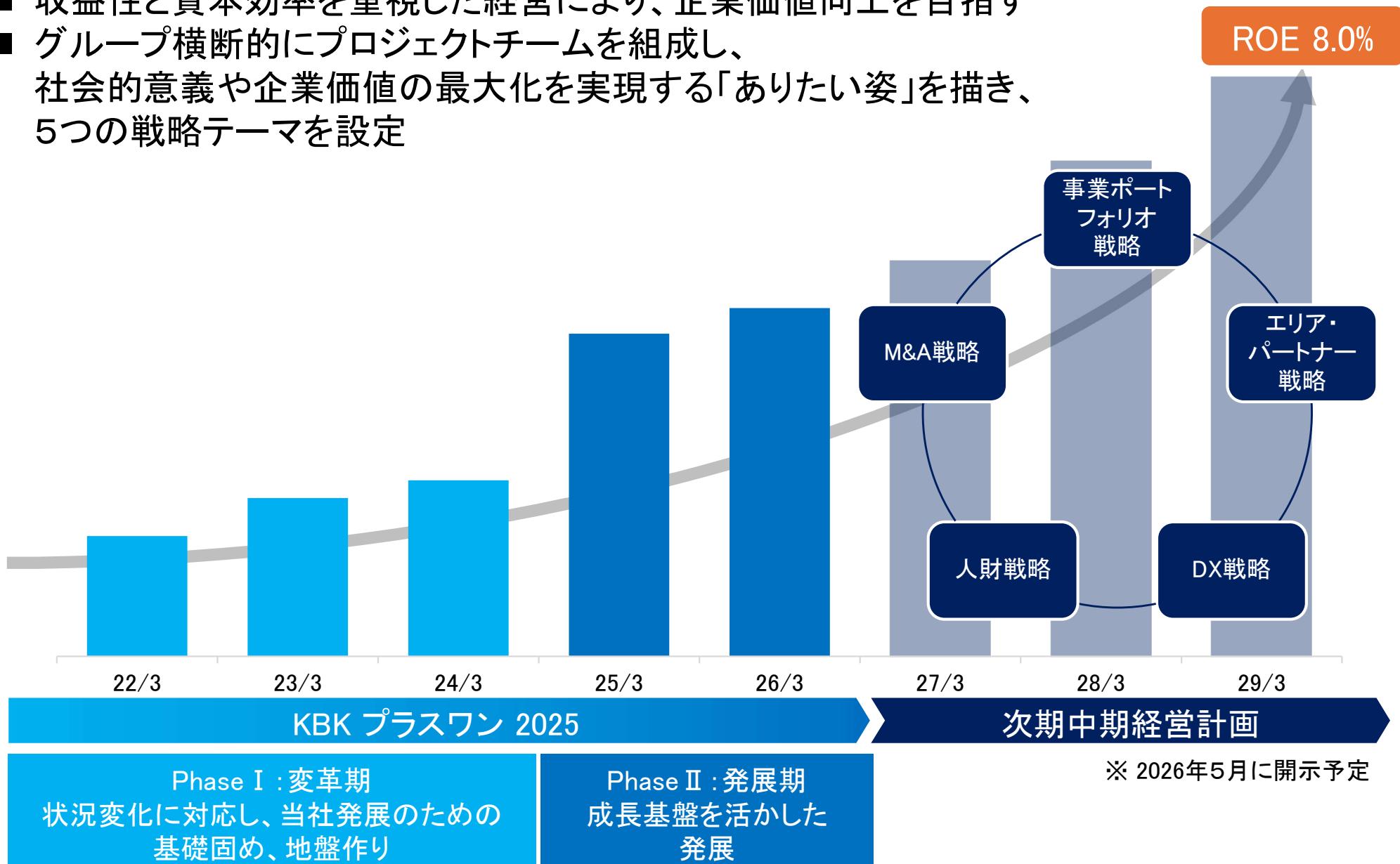


	中計最終年度目標	2026年3月期 通期業績見通し
連結経常利益	19億円	23億50百万円
ROE	5.4%	5.7% ※2

※2 ROE算出の前提条件

自己資本の算定に用いる「その他の包括利益累計額」は、中間期末(2025年9月30日)の貸借対照表の数値に基づいています。

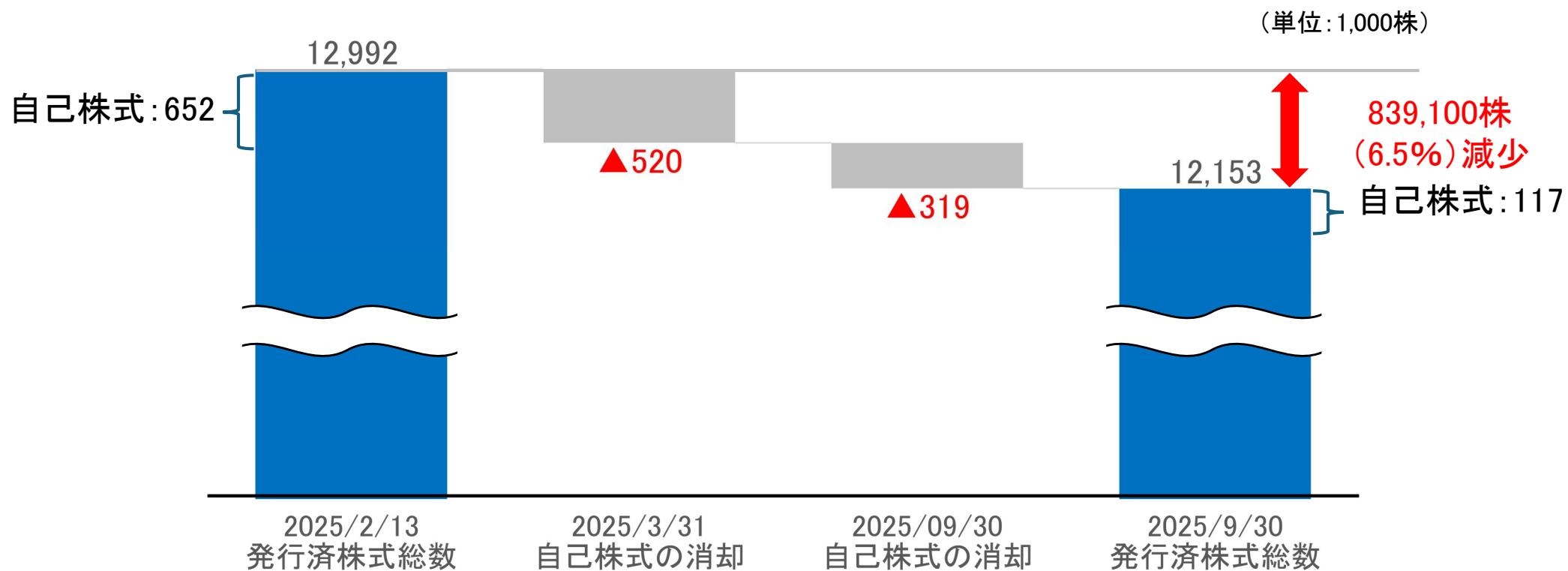
- 収益性と資本効率を重視した経営により、企業価値向上を目指す
- グループ横断的にプロジェクトチームを組成し、社会的意義や企業価値の最大化を実現する「ありたい姿」を描き、5つの戦略テーマを設定



# 株主還元・資本政策

## 自己株式の取得および消却

2025年2月13日の当社取締役会での決議事項を踏まえた、自己株式の取得および消却の状況



取得	取得した株式の総数	319,100株
	取得価額の総額	500百万円
	取得期間	2025年2月14日～2025年7月15日
	消却実績	2025年3月31日:520,000株、2025年9月30日:319,100株

# 配当政策

## ▶ 極東貿易の利益配分の基本方針

株主の皆様への継続的な成果の還元と企業価値の持続的向上を実現するため  
適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施

### 累進配当の採用

- ・累進配当を2026年3月期から採用
- ・配当性向は50%を目安



※2018年10月1日付で普通株式5株につき、1株の割合で株式併合を行っております。

2022年9月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。

配当実績はこれらの影響を加味し遡及修正を行っております。



## 株主優待の概要

対象となる株主様	基準日の株主名簿に記載または記録された 当社株式 <b>200株(2単元)以上</b> を保有されている株主様を対象
基準日	毎年3月31日
株主優待の内容	対象の株主様に対して、 一律にQUOカード(クオカード)1,000円分を贈呈
贈呈時期	毎年6月の定時株主総会後の発送を予定

参考)2025年12月3日時点の株価(1,730円)、  
年間配当金72円(今期予定)による年間利回り計算。(200株保有株主様の場合)

年間配当金による利回り	4.1%
株主優待による利回り	0.3%
年間配当金と株主優待を含めた利回り	<b>4.4%</b>



まとめ

## 極東貿易の強み



- 技術力に基づく「プラスワン」
- 多様でユニークな取扱い商材
- グローバル体制による、ものづくり支援

## 成長投資



- サステナブルな社会の実現に向けた事業展開を推進
- 積極的かつ機動的な成長投資を継続、  
グループ全体の収益力強化を図る

## 株主還元



- 資本コストや株価を意識した経営の推進
- 来期以降も、高水準の株主還元を維持する方針
- 企業価値向上に資する資本政策を機動的に実行



極東貿易株式会社

証券コード 8093

ご視聴ありがとうございました。

### 見通しに関する注意事項

この説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。

# Appendix.

■ 証券コード	: 8093
■ 取引市場	: 東京証券取引所プライム市場
■ 単元株式数	: 100株
■ 現在の株価(参考情報)	: 1,730円 (2025年12月3日終値)

## ■ 配当に関する情報

### ■ 配当方針:

#### 累進配当

原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う累進配当を  
2026年3月期から採用。配当性向は50%を目安。

■ 直近の配当実績・予想 : 1株あたり年間72円(うち中間35円、期末37円)

■ 配当基準日 : 中間:9月30日、期末:3月31日

## ■ 株主優待制度

■ 優待内容 : QUOカード(1,000円分)

■ 対象となる株主 : 3月末日現在で200株(2単元)以上ご所有の株主様

■ 贈呈時期 : 毎年6月の定時株主総会後に発送を予定

## ■ 定時株主総会

- 開催時期(目安) : 每年6月下旬
- 招集通知の発送時期 : 每年6月初旬

## ■ IR窓口

- 部署名 : 財務企画グループ 経営企画室
- 連絡先 : [g.kikaku@kbk.co.jp](mailto:g.kikaku@kbk.co.jp)

# IR資料のご紹介

## ■ 決算説明会資料

<https://www.kbk.co.jp/ja/ir/library/shiryou>

## ■ KBK CORPORATE REPORT 2025

当社の財務・非財務情報を総合的にご確認いただけます。

<https://www.kbk.co.jp/ja/sustainability/report>

## ■ 当社ウェブサイトのご紹介



TOPページ

<https://www.kbk.co.jp/ja>



## 個人投資家の皆さまへ

極東貿易グループをよりご理解いただくために、個人投資家の皆さまへ向けた情報をご紹介いたします。

### IR Message

投資家向け社長メッセージ



### Keyword

KBKと社会を結ぶ10のキーワード



### Our Data

数字で見る極東貿易

### Shareholder Return Policy

株主還元の基本方針・配当実績

## 個人投資家の皆さまへ

<https://www.kbk.co.jp/ja/ir/individual>